

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

「新井宿駅と 地域まちづくり協議会」

SR新井宿駅を中心とした地域の活性化を目指し、「住んでよかった、これからも住み続けたい」と思えるまちづくりに積極的に取り組むとともに、地域住民のまちづくりに対する関心を高めようと平成23年3月に設立された「新井宿駅と地域まちづくり協議会」。地域の発展のためにさまざまな取り組みを考える協議会のみなさんを岡村市長が訪問。活動内容などを聞きました。



市長 みなさんこんにちは。いよいよ10月、今年も残すところあと3カ月になりました。今月の市長のふれあい訪問は、「新井宿駅と地域まちづくり協議会」のみなさんです。よろしくお願ひします。始めにお聞きしますが、この協議会が設立されたのはいつですか。

矢作 この協議会が設立されたのは今年の3月ですが、新井宿駅ができた平成13年に設立された「新井宿駅周辺地区まちづくりを考える会」が母体です。一度組織改正もありましたが、10年ほど活動してきました。

鈴木 しかし、10年前とは状況が変わり、方向性にずれも出てきました。そこで、若い人にも入ってもらい新たに協議会を設立しました。現在、会員は60人で、会長と理事が6人います。

市長 若い世代の伊藤さんに伺いますが、どのような思いでこの会に入ったのですか。

伊藤 私は農業をしていますが、地元川口の作物をすぐ買って食



べられることほど信用のあることではないと思います。私たち農業者が協議会で活動することによって、都市農業の活性化になればと思ひ参加しました。

市長 市が現在取り組んでいる都市農業の復興と再生の、先駆的な取り組みとなれば、本当にありがたいな思ひます。田舛さん、大戸さんはどのような思ひで入ったのですか。

田舛 子どもたちのために、緑の多い神根地域の自然を残していければと思ひ協議会に参加しました。

大戸 神根地区の歴史を個人的に調べていました。そのときみなさんと知り合い、まちへの思ひが同じなので参加しました。

市長 具体的にどのような活動

をしていますか。

鈴木 神根を知ってもらうためにイベントを開催しています。体験農業なども行いますが、それに関連して販売事業も展開していこうと考えています。

大戸 今月開催する「新井宿駅と地域まちづくりフェスタ2011」に併せて、「地域の魅力マップ」をつくり、地域独特の魅力をお伝えしていこうと考えています。

市長 イベントのパンフレットを拝見しましたが、第1会場から第10会場まであるすごいイベントですね。いつ行うのですか。

田舛 10月23日の日曜日に新井宿駅周辺で行います。農産物の販売、地元産の植木や花の展示販売などのほか、農産物は収穫体験もできます。

伊藤 収穫体験では、畑からネギを自分で抜くなど普段はできない貴重な体験してもらいます。東京のすぐ隣の川口、神根のまちでこのような体験ができることをとおして地域のPRをしていきたいと思ひています。

市長 自分で体験できるのがすごくいいですね。

田舛 ほかに、新井宿インタ―近くの約300坪の畑にコスモスを植えています。当日のイベントでは、観賞とコスモス狩りを楽しめるようにしています。日本一の花いっぱいのもちにしたというみなさんの思ひがあるので、これを皮切りにしようと思ひます。



市長 熱い思ひがいいですね。「思えば叶う」。私の好きな言葉ですが、まず思わないと何にも始まりません。ぜひ今後も続けていってください。それでは、会長からこれからの抱負をお聞かせください。

矢作 若い人が一生懸命やっているの、それを土台にして、新井宿駅を中心とした神根地域をPRしていきたいと思ひます。

市長 「新井宿駅と地域まちづくりフェスタ2011」は、10月23日(日)午前10時から午後4時まで新井宿駅周辺で行います。いろいろな企画が盛りだくさんです。市民のみならず、ぜひご来場ください。私からもお願ひします。今日はどうもありがとうございました。